



温故知新

#564

「外に出て人と関わるのが一番と笑顔で語るのは、土山勉さんです。土山さんは昭和17年12月3日、北見市端野町で四男五女の四男として生まれました。実家は畑作農家で、ハッカやジャガイモ、ビートなどを栽培。繁忙期には学校を休んで収穫作業を手伝うのが当たり前の時代でした。

「すべて手作業で刈り取りを行うのは重労働だった。ハッカ蒸しは夜の仕事だから、昼も夜も関係なく働いたよ。」と、当時の苦勞を懐かしそうに振り返ります。中学校卒業後は、堤防づくりの土木作業やオート三輪による木材運搬などに従事。その後、昭和34年10月1日に縁あって丸玉産業へ入社しました。4年間の大阪勤務を経て、父親の

逝去を機に津別へ戻り、平成14年の新町工場閉鎖までベニヤ板の張り合わせなど製造現場の第一線で働き続けました。定年退職後も十数年にわたり、工場敷地内の草刈りなどを行い、職場環境の維持に力を尽くしています。

現在の生きがいは、お祭りをきっかけに手伝い始めた「でてこいランド」でのボランティア活動です。仲間たちとともに学生たちの合宿を温かく見守りながら、焼き鳥を焼いたり、会場の準備や後片付けをしたりと大忙しです。

「外から来た人たちと一緒に飲むお酒は本当にうまい。ここで新しい交流が生まれるのが何より楽しいんだ。」と笑顔で話してくれました。

外に出て人と関わるのが一番

土山 勉さん つちやま つとむ さん

昭和17年 83歳 端野生まれ
達美在住

青春 くろーずあっぷ

今年4月から津別町教育委員会生涯学習課学校教育係で勤務している鹿又柚香さん。教職員の福利厚生や児童生徒の就学援助、通学援助に関する業務を担当しています。津別町出身で、小学校までを町内で過ごしました。その後、親の転勤に伴い北見市へ転出し、北見緑陵高等学校を卒業。オホーツク社会福祉専門学校へ進学するとともに、豊岡短期大学通信教育部を併修し、保育教諭の資格を取得しました。卒業後は北見市内で3年間、保育士として勤務していました。

「津別町が好きで、いつか戻ってきた」という思いがありました。と話します。その思いを胸に採用試験を受験し、念願だった津別町で働くこととなりました。

「初めての事務職で、これまでの保育の仕事とは全く違うため、慣れないことも多いです。早く仕事を覚えて、皆さんのお役に立てるよう頑張ります。」と笑顔で語ってくれました。休みの日は、外に出て太陽の光を浴びるアウトドア派。家で過ごすときは、映画やアニメを見て楽しんでいるそうです。



大好きな津別で働く夢をかなえて

鹿又 柚香さん かのまた ゆずか さん

令和8年入庁 津別町出身
津別町役場勤務

知温 新故

掲載候補者募集中!

いつも「温故知新」をご愛読いただきありがとうございます。「温故知新」では長く人生を歩まれている方の人物紹介をしております。

取材が可能な方に、お心当たりがある方はお気軽に右記連絡先までご連絡ください。

電話番号：76-8374（企画係直通）
FAX：76-2976
メールアドレス：town.tsubetsu@gmail.com

問い合わせ先
税務収納係 10番窓口
☎77-8376

「昼間は仕事があるから銀行に行けない」「いつも納付書（納入済通知書）をなくしてしまう」「納付期限を忘れてしまう」等の方は、口座振替のご利用をお勧めします。金融機関で手続きを済ませておけば、納期ごとに預金口座から自動で納税することができます。手続きは、金融機関窓口にて納税通知書と通帳、印鑑を持参の上「町の税金の口座振替をしたい」とお申し出ください。

なお、口座振替のご利用を開始された方は、税額及び納付期限に注意し、引落口座の残高が不足していないかをご確認ください。引落口座が不足している場合、口座振替が不能となってしまう、後日、通知書及び納付書（納入済通知書）を送付し、現金での納税となってしまうのでご注意ください。

暮らしを支える 税 口座振替のすすめ

タウンニュース 第111回
Town News Tsubetsu
つべつ
Webでも公開中!
町のHPより
ご確認くださいませ!



津別町観光最前線

津別町の魅力を原資に、町の未来を切り拓こうと奮闘する人々がいます。今回のタウンニュースつべつは津別町の観光最前線!名物クマヤキで知られる道の駅あいおいや、廃校を活用したショールームTSKOOLなど、町内各地の個性あふれるスポットをキャスターが訪問。北海道アート界の巨匠「大西重成さん」が迎えてくれる「シゲチャンランド」、エコツーリズム大賞も受賞

し、昨年約5,000人が参加した「津別峠雲海ガイドツアー」や、まちづくり会社が挑むクラフトビール開発、国鉄時代の寝台車を活用した「鉄道ハウス」再生プロジェクトなど、観光を通じて地域を元気にしようとする新たな挑戦が続々。絶景や施設だけではない津別町の「人」の魅力。「光を観る」と書いて「観光」。希望の光を胸に、町をもっと面白くしたいと行動する人々取材しました。

毎月末日 ころ更新
取材希望企業・飲食店・生産者募集!!
詳しくは役場住民企画課まで
問い合わせ先
住民企画課 企画係 14-1 番窓口
☎77-8374

この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおい、北見信用金庫津別支店、網走信用金庫津別支店に設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。